2022年度通常公募_団体情報シート			
団体名	公益社団法人 日本WHO協会		団体web サイトURL https://www.japan-who.or.jp/
主 題	申請事業名 だれひとり取り残されない外国人医療		申請受付番号 220130
			申請事業の分類① ②イノベーション企画支援事業
			申請事業の分類② 申請事業の分類③
優先すべき社会の諸課題選択科目			
領域①	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	領域②	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動
分野①	⑤ 孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援	分野②	⑧ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
領域③	-	領域④	-
分野③	0	分野④	-
申請事業概要			
<p>外国人医療において、各セクターで様々な取り組みが行われているが、患者と医療機関を含む関係団体双方での認知度が低く生かし切れていない。また、医療機関が通訳派遣の適切な利用方法、通訳ツールの活用について理解していないなどの問題がある。そこで、当会が強みとする医療関連団体とのネットワークを駆使して、実行団体を支援していくことで、それらの取り組みが効果的に利用され、外国人が安心して医療サービスが受けられる環境を整備する。具体的な活動は以下のとおりである。①医療関連機関・関連団体・外国人への外国人医療における厚生労働省の取り組み内容の理解及び活用促進。②外国人医療にたいする各セクターの取り組みレベルの高位平準化。③外国人が医療情報・サービスにアクセスしやすい環境の整備。④医療通訳者と協働する医療従事者への多言語・多文化教育。⑤医療通訳ツールの効果的な活用。</p>			

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	1965/04/20
	法人格取得年月日	2012/04/01
2	●団体概要	
	団体概要	<ul style="list-style-type: none"> ・WHO憲章精神を普及するためのセミナー「関西グローバルヘルス」等の開催及び機関誌「目で見えるWHO」発行・世界保健デーイベント等啓発事業 ・健康に関する調査研究の受託・委託及び助成並びに研究成果に基づく提言等の研究事業 ・国内外で健康に関する社会貢献活動を行う企業、団体並びに個人との連絡・調整・協力等の連携事業 ・国内外の健康の向上につながる人材の育成・援助等の人材開発事業 ・基金支援事業
3	●代表者情報	
	代表者名	中村 安秀
	代表者の役職	代表理事
	代表者名 2	更家
	代表者の役職 2	史郎
4	●役員	
	役員の数	20人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数	2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	1人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	4人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	1人
	常勤・有給・無期	3人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	0人
	非常勤・有給・無期	0人
非常勤・無給(有期・無期)	0人	
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	異なっている
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	1
2	前年度の助成総額 (円)	54,000円 (400,000円を調達したが、Zoom開催としたため)
助成事業の実績内容		
3	<p>助成事業を獲得した経歴としては、2020年に国立研究開発法人 国立国際医療研究センター (NCGM) の「医療技術等国際展開推進事業」の助成約770万円を受け、「ラオスにおける小児外科卒後研修プログラムの確立」を実施した。また、助成事業を獲得し配分した経歴としては、2014年から業業クラブからの助成を得て国際保健医療学会の学生会のフォーラムの支援を実施継続している。2022年度は、50万円を配布する予定である。また、WHOインターンシップ参加者に対する支援として、2011年からひとりあたり10万円を支給し、現地での活動資金を助成してきた。</p>	